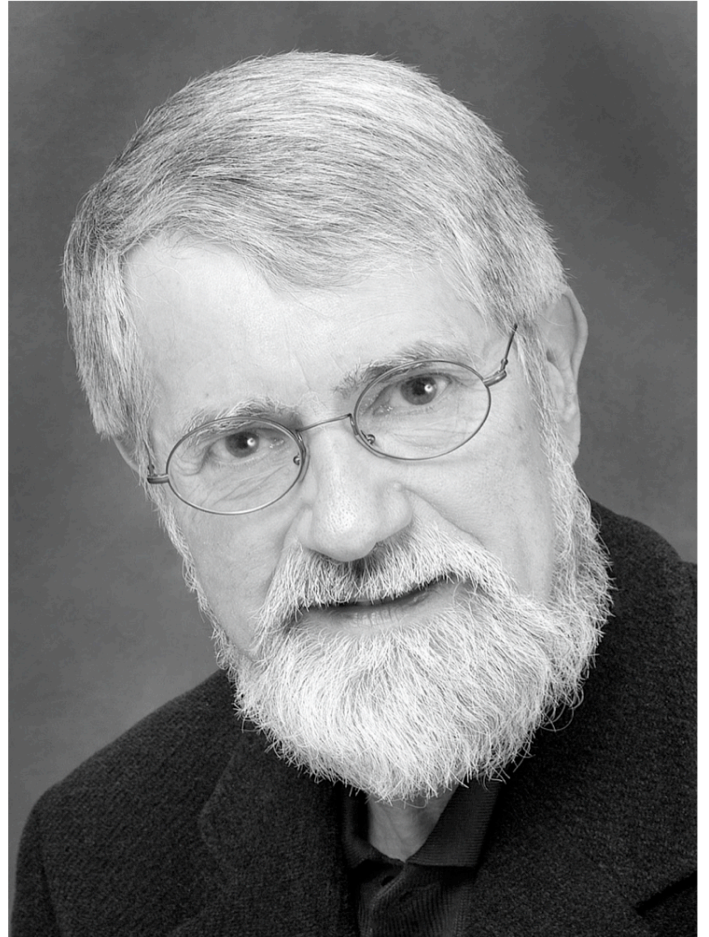


新潟大学国際学術シンポジウム

ハイデガー テオリアと翻訳の使命

Heidegger, or the Task of *Theoria* and Translation



日時：2014年11月26日（水）13:00～18:00（入場無料、事前予約不要、通訳付）

会場：新潟大学駅南キャンパス「ときめいと」

13:00-14:00 Takashi Kurihara (Niigata University): Tiefe der Seele und Schacht der Intelligenz — Mit Rücksicht auf Hegels Revision der „Philosophie des Geistes“ / 栗原 隆 (新潟大学) 「心の深処と知性の豎坑——ヘーゲル『精神哲学』の改訂を視野に入れて」

14:00-15:00 Tatsuya Nishiyama (Seinan Gakuin University): La tâche du traducteur dans le temps des conceptions de monde (Heidegger) / 西山達也 (西南学院大学) 「世界像の時代における翻訳者の課題（ハイデガー）」

15:00-16:30 Keynote Lecture 基調講演

Rodolphe Gasché (SUNY at Buffalo): Watching over What is Still to Come

ロドルフ・ガシエ (ニューヨーク州立大学バッファロー校) 「いまだ来たるべきままのものを見張ること」

16:45-18:00 共同討議

主催：新潟大学人文社会・教育科学系附置「間主観的感性論研究推進センター」 / 共催：科学研究費補助金（基盤研究C）「遺稿調査にもとづくジャック・デリダの脱構築思想の生成史の解明」 / 問い合わせ先：宮崎裕助 yusuke [アットマーク] human.niigata-u.ac.jp